

2, 4-ペンタンジオン及び2-メチルー1-プロパノールの がん原性試験の評価結果について（報告）

化学物質のリスク評価検討会
有害性評価小検討会

有害性評価小検討会は、日本バイオアッセイ研究センターが実施し、平成21年9月30日（2-メチルー1-プロパノール）及び平成22年3月31日（2, 4-ペンタンジオン）に報告のあった試験報告書（第4回有害性評価小検討会資料1-1～4、2-1～4）について以下のとおり評価を実施した。

（2, 4-ペンタンジオン）

2, 4-ペンタンジオンを2年間（104週間）雌雄のラット及び雌雄のマウスに吸入ばく露させたがん原性試験において、2, 4-ペンタンジオンの投与によって、F344/DuCrIcrlj (Fischer) ラットでは、雌雄とも、腫瘍の発生増加は認められず、発がん性はないと結論した。また、B6D2F₁/CrIj マウスでも、雌雄とも、腫瘍の発生増加は認められず、発がん性はないと結論した。

（2-メチルー1-プロパノール）

2-メチルー1-プロパノールを2年間（104週間）雌雄のラット及び雌雄のマウスに経口（飲水）ばく露させたがん原性試験において、2-メチルー1-プロパノールの投与によって、F344/DuCrIcrlj (Fischer) ラットでは、雌雄とも、腫瘍の発生増加は認められず、発がん性はないと結論した。また、B6D2F₁/CrIj マウスでも、雌雄とも、腫瘍の発生増加は認められず、発がん性はないと結論した。

これらを踏まえ、当検討会は、当該試験の評価結果として、2, 4-ペンタンジオン及び2-メチルー1-プロパノールは、ヒトに対する発がん性が認められないと判断した。